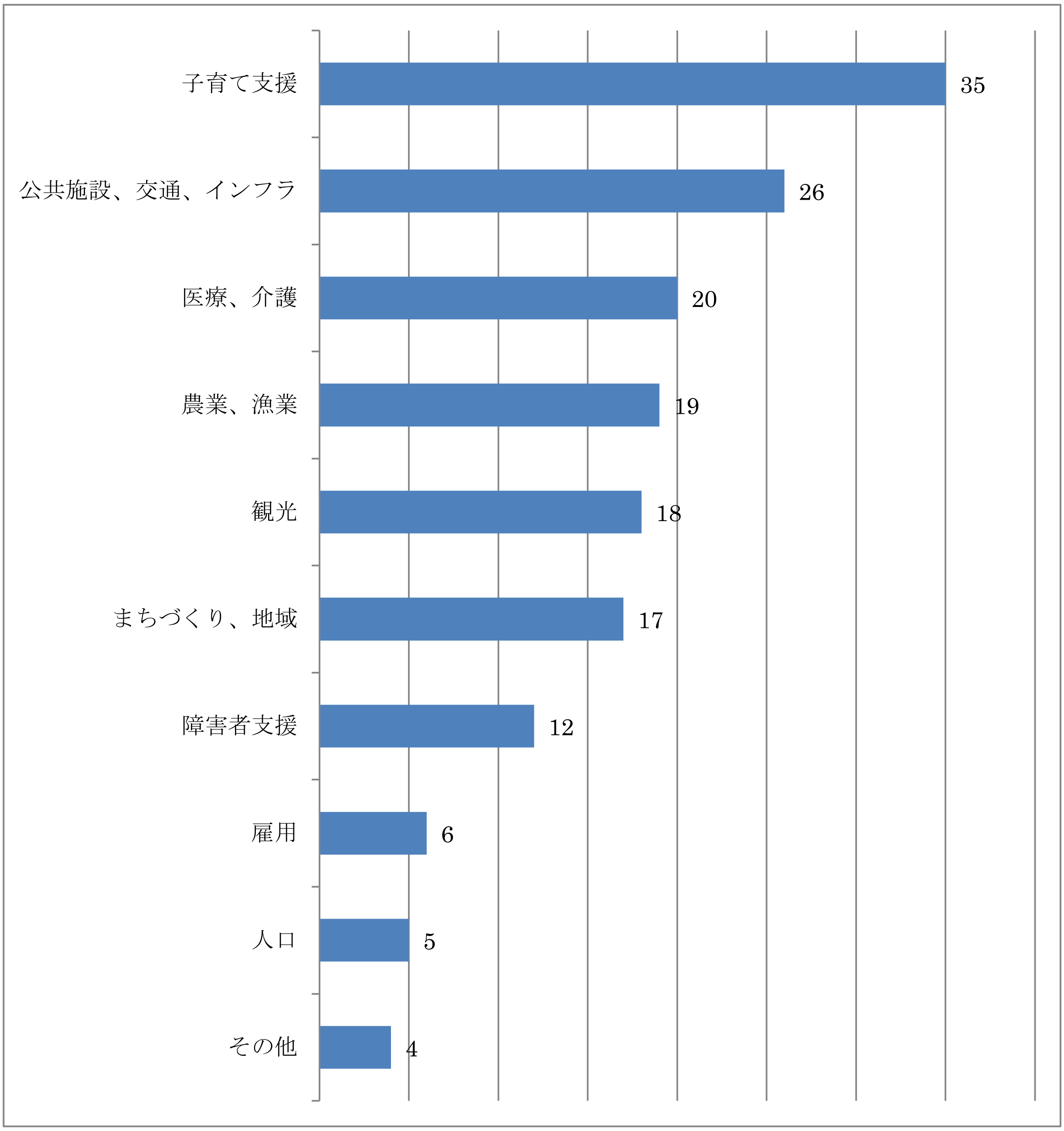
「改善提案シート」記載内容 中間とりまとめ

第３回、第４回のなめがた市民１００人委員会の各分科会において，委員が記載した「改善提案シート」の内容を、以下の通り性質ごとに分類しました。各分科会での議論は他の分科会のテーマに関わることも多いため、分科会横断的にとりまとめを行いました。

○「現状の課題」性質別とりまとめ



委員からの改善提案概要

（1）子育て支援

<table>
<tr><th colspan="2">課　題</th><th>子育てボランティアが活用されていない</th></tr>
<tr><td rowspan="3">改善
提案</td><td>個人の取組み</td><td>・ 子育てボランティアの存在を把握する。
・ 子育てボランティアに参加する。
・ 子育てボランティアを活用する。
・ 自分の仕事が休みの日で都合がつけば協力する。</td></tr>
<tr><td>地域・民間の取組み</td><td>・ ボランティアとして参加してくれる人に声を掛ける。人材は豊富にいる。
・ 有職者、退職者がそれぞれ可能な内容のボランティアとして参加する。
・ 子育て中の悩み相談にのる。
・ 障害のある子を持つ親への支援をする。</td></tr>
<tr><td>行政の取組み</td><td>・ 子育てボランティアの募集、呼びかけ。
・ ボランティア人材バンクの管理。
・ ボランティア保険や手当などを整備する。
・ 行政の内部での連携をしっかりとり、ボランティアとして参加してくれる人たちの情報共有をする。
・ 子育てコンシェルジュサービスを導入し、子育てボランティアに担ってもらう。
・ ボランティアの力（何人が、どの程度の時間関われるのかなど）を可視化する。</td></tr>
<tr><td colspan="2">その他</td><td>・ 子育てボランティアは存在しているが、ほとんど仕事がない。
・ 子育てボランティアがどのような目的で募集されているかわからない。</td></tr>
</table>

<table>
<tr><th colspan="2">課　題</th><th>保育園や学童保育などで、遅い時間や病後時、急な時間変更（台風などの緊急時など）のサポートがない</th></tr>
<tr><td>改善
提案</td><td>個人の取組み</td><td>・ ママ友同士でお互いにサポートしあえる関係をつくる。
・ 保育サポーターの制度を整備し、登録して、子育てのサポーターになりたい。
・ リタイア後に支援でかかわる。
・ 現在の学童保育や保育園の利用状況を把握する。
・ ボランティアとして参加できることを伝える。実際に参加する。
・ 地区のセンターで一時預かりを行い、そこで預かる役割を担う。</td></tr>
</table>

	地域・民間の取組み	・ シルバー人材センターとして関わる。 ・ 地域で協力し合う。 ・ 保育サポーターの制度を整えた上でサポーターを募る。 ・ 子育てボランティア（約 40 名）の人たちの活動の場を広げる。活性化させる。 ・ 子ども会の中で非常時体制を決めておき、父兄や祖父母で子供の面倒を見ることが可能な人材を確保しておく。 ・ 平日、空き教室で児童とかかわる。 ・ 地区館を開放する。 ・ 地区館での一時預かりを、まずは月 1 くらいでやってみる。 ・ **条件の整った地域から地区館での預かりをスタートしてみる。**
	行政の取組み	・ ファミリーサポートセンター制度を充実させる。 ・ 学童の時間以外に子どもを預かる場所の整備（集落センターの開放）。 ・ 広報に地区館での一時預かりの開館日と行事予定、時間を掲載。 ・ 地区館の管理者（行政区で選んだ近隣住民）との連絡連携 ・ 保険などの制度を作って保育サポーターを集める。 ・ 行政と子ども会で連携を取る。 ・ **子育てボランティアを周知し、活躍の場を広げる。** ・ **ボランティアとして参加できる人の把握。** ・ **先進地区の事例を他の地区に共有する。**

課　題		子育て支援の担当課間で連携が不足している
改善提案	個人の取組み	・ 同じようなことを違う部署で実施していることを知る。
	地域・民間の取組み	
	行政の取組み	・ 特別に支援を要する子どもに関する担当課を統一する。 ・ 市の広報紙に各課の仕事内容を掲載する。 ・ 子どもに関する部署の情報共有の場を設ける。

課　題		育児困難家庭やシングルマザーの家庭への支援体制が整っていない
改善提案	個人の取組み	・ 当事者の話を聞く。 ・ 当事者のサポートをする。
	地域・民間の取組み	
	行政の取組み	・ 児童相談所などの専門家と連携して講演会を開く。 ・ 個別訪問をして、情報を収集する。 ・ 相談機関を設ける。

課　題		男性の育児参加が少ない。女性の負担が大きい
改善提案	個人の取組み	・ 家庭内分業に積極的に関わる。
	地域・民間の取組み	・ 男性に育児トレーニングをする。 ・ 男性の育児を褒める雰囲気づくり。
	行政の取組み	・ 育児に取り組むイクメン支援事業の創出。 ・ イクメン DAY を取り入れる事業所を奨励し、表彰などをしていく。

課　題		希望の出産数を実現できていない。不妊治療などへの支援の不足
改善提案	個人の取組み	
	地域・民間の取組み	・ 治療に当てる時間ができるように有給を取得しやすい環境を整える。
	行政の取組み	・ 不妊治療費を助成する。 ・ ノー残業デーを促すなど、不妊治療の時間を確保できるよう事業所に働きかける。

【その他意見】

- 子育ての相談をできる支援センター、相談窓口がない。子育てコンシェルジュがいない。
- 病時、病後児に子どもを預かってもらえる場所がない。
  - なめがた総合病院との交渉で体制を整えられないか。
- 出会いの場が少なく、結婚に至れない人が多い。
  - 事業所同士の交流会など、出会いの場を創出する。
- 自信とゆとりをもって子育てに取り組めるよう経済的支援制度を設ける。
- 子ども会の活動内容がわかりづらい。
- 児童委員の活動がほとんどない。
- 子ども達の居場所を増やす。
- シルバーリハビリ体操で、子どもと高齢者のふれあいの場を作る。

（２）公共施設、交通、インフラ

＜公共施設＞

課　題		集会施設（公民館、地区公民館、集落センター）が活用できていない
改善提案	個人の取組み	・　地区のしきたりや生活の為の話し合いを行うための世代ごとの集いの場として活用。 ・　室内スポーツなどで利用する。
	地域・民間の取組み	・ 地区であったことや改善点、お互いの家族の状況などを話し合う場として活用する。 ・ 年代は関係なく集まる方法を考える。 ・ 草刈り等施設の維持管理に参加する。
	行政の取組み	・ 玉造公民館の入口がわかりにくいので標識をつくる。 ・ 公民館でのイベント、趣味の集いを開催する。 ・ 統廃合を進める。 ・ 地区館でできる活動の周知。スポーツなどができることを知らせる。

課　題		廃校になった学校施設を活用できていない
改善提案	個人の取組み	・　高齢者のスポーツ（グラウンドゴルフ）の場として活用する。
	地域・民間の取組み	・ 廃校の使い道を考える。 ・ グラウンドゴルフの会員で草刈り、枝払い等の周辺整備を行う。
	行政の取組み	・ 古いカメラセットなど、今役所でまとめなければなくなる歴史的な物品があるので、保存する。 ・ 高齢者に協力してもらい、昔の歴史を学べる子ども達の宿泊学習の実施。 ・ ホームページに掲載し活用方法を募集。 ・ 金融機関と連携し、活用策を考える。 ・ 歩く会や高齢者と子どものふれあいの場など、健康づくりのためのイベントを開催。 ・ 跡地活用の案があれば情報を公表する。 ・ 東関東自動車道のインターができるのであれば、物流センターとして活用する。 ・ 専門学校を設立する。

課　題		老朽化した施設や無駄な施設が多い
改善提案	個人の取組み	・ 不要な施設は不要と意思表示する。
	地域・民間の取組み	・ 地域で撤去費用の一部負担する。 ・ 地域で使うか、使わないのであれば解体。
	行政の取組み	・ 身の丈にあった整理をする。 ・ 民間への売却を検討する。 ・ 使わない施設は解体する。

課　題		地域が所有している施設（自治会館）と市の公共施設（地区館）に重複がある
改善提案	個人の取組み	・ 市として持つのか地域で持つのか考える。
	地域・民間の取組み	・ 行政区の施設は自立して管理する。
	行政の取組み	・ 市の財政状況、施設を持ち続けることのコストを公表する。

＜交通＞

課　題		路線バス交通の便が悪い、バスの乗客者数が少ない
改善提案	個人の取組み	・ 利用者を紹介する。 ・ 自ら積極的に乗車する。
	地域・民間の取組み	・ 商業施設にバスを走らせて利用者を増やす。
	行政の取組み	・ 霞ヶ浦広域バスの土浦～玉造～潮来を運航。潮来市と調整の必要有。 ・ 商業施設の誘致。 ・ 近隣行政との連携。 ・ 知名度の向上施策の検討。 ・ 利用者に対するインセンティブの検討。 ・ 自動運転システムを応用したバスの実証実験。 ・ スクールバスを昼間に一般用として運行する。 ・ ドア to ドアのデマンドタクシーを運行する。
その他		・ 交通弱者にとってバスは必ずしも便利ではない。特に高齢者の買い物利用はバスを降りてからが大変。

【その他意見】
- 総合福祉センターを建設する。
- 道路の状況が悪いので改善が必要。

（3）医療、介護

＜介護＞

<table>
<tr><th colspan="2">課　題</th><th>介護をする側への支援が不足している</th></tr>
<tr><td rowspan="3">改善
提案</td><td>個人の取組み</td><td>・ 介護している人が外に出て話す、話をきいてもらう機会をつくる。
・ リフレッシュすることが重要。
・ 友人知人として関わる。
・ 介護している人にコミュニティへの参加を進め、外に出る機会をつくる。</td></tr>
<tr><td>地域・民間の
取組み</td><td>・ 地域の中で話し合いができる場など、介護している人の心の拠り所となる場所をつくる。
・ 民生委員にも協力してもらう。
・ 地域包括支援センターを活用する。
・ 地域の中で話し合いを出来る場を持つ。</td></tr>
<tr><td>行政の取組み</td><td>・ 地域包括支援センターの人員の充実。
・ 地域包括支援センターを周知して、誰もが利用できるようにする。
・ 2000 人の要介護者の把握、データの分析。
・ 健康増進課と介護福祉課の連携。
・ モデル地区を選定して重点的に取り組む。</td></tr>
<tr><td colspan="2">その他</td><td>・ 身体の介護はどこで折り合いをつけるかが問題。</td></tr>
</table>

<table>
<tr><th colspan="2">課　題</th><th>地域での高齢者の見守りが不十分</th></tr>
<tr><td rowspan="3">改善
提案</td><td>個人の取組み</td><td>・ 地区ごとの見守りの徹底。
・ 地域の人たちで見守るために、いつも気に掛ける。
・ 要介護にならないよう、食事や健康に気をつける。
・ 認知症にならないように活発に活動する。</td></tr>
<tr><td>地域・民間の
取組み</td><td>・ 介護予防サポーターを育成する。
・ 民生委員と一緒に見守りをする。
・ 地域のイベントやクラブ活動へ参加を呼びかける。
・ 町内の独居高齢者に昼食を提供し、見回りをする。</td></tr>
<tr><td>行政の取組み</td><td>・ 介護保険の状況を市民に分かりやすく広報する（保険料の増額等）。
・ 看護師の増員。
・ ヤクルト等の民間事業者に協力を依頼する。
・ 困っている人の相談にのる。
・ 防災無線が聞きにくい地域があるので改善する。</td></tr>
</table>

【その他意見】
- 介護保険料を支払っているから使うのがあたり前という意識が強い。
- 高齢者の社会参加対策が必要。
  - シルバー人材センターでの労働、近所づきあいや友人づきあいなど。
- 災害時等の高齢者の見回り対策の仕組みがあると良い。

＜医療＞

課　題		なめがた総合病院の拠点化とその周辺整備が必要
改善提案	個人の取組み	・コミュニティの活動を行う。 ・病院に行っている人に周辺施設のニーズを聞く。 ・病院の健康教室や音楽会に参加する。 ・病院の行事を知人に伝える。
	地域・民間の取組み	・病院を憩いの場として活用する。 ・病院に子どもの絵を飾る。 ・患者以外でも健康教室や音楽会に参加できるよう周知する。 ・病院の周辺にみんなで集える楽しい場所をつくる。
	行政の取組み	・総合福祉センターの検討。 ・病院へのアクセスを良くする。 ・病院の周辺にコンビニを誘致する。
その他		・それぞれの地区にコミュニティの拠点があるので病院の近くに一つにするのは難しいのではないか。 ・病院の待ち時間が長い。

【その他意見】
- 休日・夜間の診療体制の充実が必要。
- 産婦人科医を始めとして、医師が不足している。
- 病院の行事の告知が遅く、終了してから回覧されるものがあるので、改善が必要。

（４）農業、漁業

課　題		農産物の特産品、ブランド力がない
改善提案	個人の取組み	・それぞれの農家が個別に研究していく。 ・マーケティングを考えて特産品を選ぶ。 ・行方の特産物を市民総選挙で（AKB 総選挙みたいに）投票して選ぶ。作り手の農家がポスターを作りアピールする。難しい議論よりも市民が同じ方向を向ける機会が重要。 ・口コミで宣伝する。

	地域・民間の取組み	・ 個別の農家で特産品を考え、同意見を持った人たちで協力する。 ・ 特産物の総選挙を皆で話題にする。 ・ ロコミで宣伝する。
	行政の取組み	・ 行方市の農作物としてどのように特色を出していくのかを考える。 ・ 選挙の仕組みは行政の得意分野なので、特産物の総選挙の機会を作る。 ・ 新種の農作物を開発する。 ・ ブランド力をつけるための国際規格を取るべく調査する。 ・ ブランド化の目的を明確化する。

課　題		農業の担い手、後継者が不足している
改善提案	個人の取組み	・ 農業が好きな人にむけてアピールし、行方市を意識してもらう。 ・ ＳＮＳなどネットで周知することは可能。 ・ 耕作放棄地を貸し出す。 ・ 自分が所有している農地を提供する。 ・ 自分の農地は自分（家族）で何とか処理する。 ・ 転居してくれる人を探す。
	地域・民間の取組み	・ 農家やＪＡが協力し、Ｕターン者を探す。 ・ 生産法人やＪＡが担い手のいない個別農家に生産力を提供する。 ・ 個別農家が不足しても良いように集団化する。 ・ 耕作放棄地を把握し、持ち主に貸し出しの意向を確認する。 ・ 既に他の地域から行方市に来ている人がいるので、そういう人から話を聞く。 ・ 後継者を育成する。 ・ なめがたファーマーズビレッジを活用する。 ・ 女性の農家の定住化を促進する。 ・ 移住者のためのシェアハウスを検討する。
	行政の取組み	・ 農地を持て余している人を集めて、農業をやりたい人、グループと話し合いを行えるプラットフォームを作る。 ・ 耕作放棄している人のリストアップ。 ・ 行方市の魅力をPRし、イメージアップをはかる。 ・ 耕作放棄をしている農家と、農地の集約、貸し出しの相談をする。 ・ 行方市に移住する人への税優遇策の検討。

		・ シェアハウスを建て、移住者と耕作放棄者の両方にとってＷＩＮとなる関係を作る。

課　題		新規営農者が溶け込みにくい環境がある
改善提案	個人の取組み	
	地域・民間の取組み	・ 地域として新規住民のサポート体制の確立。 ・ 民間（農業生産グループ）への受け入れの要請。
	行政の取組み	・ Ｉターン者への支援策を考える。 ・ 移住した後に地域との調整を行う。

課　題		耕作放棄地の対策が不十分
改善提案	個人の取組み	
	地域・民間の取組み	・ 地域で耕作放棄地や空き家の場所を調べる。 ・ 地域が共同で管理する。 ・ 地域別に耕作放棄地や空き家の解消を競い合う。
	行政の取組み	・ 耕作放棄地を集約し、専業農家に委託する。

【その他意見】

- 農作物の品目が多いのはメリットなので、すべての食材を行方市産で作成し、生産者を明記する弁当を作り、付加価値を上げる。
- ＪＡと農家の関係を強化し、お互い WINWIN となるような関係を構築する。
- 個人として農家を応援する。
- 漁業が衰退している。
  - 漁協と連携し、漁師の要請などを行う。

（５）観光

課　題		観光資源の見直しが必要
改善提案	個人の取組み	・ ＮＰＯ法人を設立して手伝う。 ・ 景勝地の保全活動に参加する。 ・ 観光地になりそうな場所を考え、活用できそうなものを行政に提案する。
	地域・民間の取組み	・ 滞在型観光としての農業体験のために、農地の提供、農作業のアドバイス（グリーンツーリズム）。 ・ 景勝地の保全活動を行う。
	行政の取組み	・ 広域的に周辺自治体と組み、観光地を作り上げる。 ・ 大場家の保存を観光につなげる。 ・ 市民から提案された観光地を PR する。 ・ 良いサイクリングロードがあるので、スポーツバイクの全国大会を開催する。

課　題		なめがたファーマーズビレッジの PR 不足
改善提案	個人の取組み	・ まずは自分で行ってみて、感想を発信する。 ・ **友人、知人に紹介する。**
	地域・民間の取組み	・ 会社の研修の場として活用する。 ・ 幼稚園の遠足で訪れる。 ・ **地域で盛り上げていく。**
	行政の取組み	・ 小中学生の職場体験として活用する。 ・ **ファーマーズビレッジの「強み」を明確にし、積極的かつ大々的に PR する。** ・ **市民がリピーターになるための工夫をする。**
その他		・ 作ったからには潰れないように有効活用する。 ・ 市民、民間、行政が一丸となって日本全国での認知度を高める。 ・ **商品は割高で市外向けの施設と思われるが、そうであっても市民が魅力を感じられるような施設にすべき。**

課　題		宿泊施設が不足している
改善提案	個人の取組み	・ 個人が主役となり民泊、民宿を促進する。
	地域・民間の取組み	・ 今ある施設を使い民泊、民宿の場所を確保する。
	行政の取組み	・ 観光に力を入れても日帰り客しか期待できないので、滞在型に考えを変える。 ・ 特区申請を行い、民泊を簡単にできるようにする。 ・ 農業人口を増やすために短期宿泊を増やす。 ・ **廃校を宿泊施設として活用する。** ・ **民泊、民宿用の施設整備のノウハウ指導や助成。**

（６）まちづくり、地域

課　題		市民主体の地域づくり、まちづくりがまだ不十分
改善提案	個人の取組み	・ 行政区、町会単位のコミュニティの魅力の再発見を心掛ける。 ・ みんな声かけあって楽しく遊んだり、世間話をしたりする。 ・ 行方市１００人委員会の分科会を中心に NPO 法人を設立する。 ・ 街を良くするには自助努力。 ・ **地域の集まりに参加する。**
	地域・民間の取組み	・ コミュニティ単位でのイベントを企画する。 ・ お互いに声を掛け合う。

		・ 市職員は増やせないが、市民が手伝いを少々するだけで街を良くすることができる。 ・ 行政区のリーダーを養成する。 ・ 引っ越しきた人が行政区に入りにくいので、新しい人も入りやすいつきあい方を考える。
	行政の取組み	・ 運動場の片すみに集えるための机を設置する。 ・ 町会単位、行政区単位の区割りを見直す。 ・ 行政区のリーダーへのフォロー。 ・ 補助金を出すだけではなく各行政区の内情を知る。

課　題		地域のつながりが希薄化している
改善提案	個人の取組み	・ 地域の活動に子どもからお年寄りまで家庭全員で参加する。
	地域・民間の取組み	・ 地域交流の企画をする。 ・ 子ども会を主としたイベントの実施。 ・ 地域おやじの会の創設。 ・ JAと協力し、地区住民の体験農業を行う。 ・ お年寄りと子どもの触れ合いの機会をつくる。
	行政の取組み	・ 地域交流の取り組みへのサポート。 ・ 旧小学校区での行事を構築する。
その他		・ 学校が統廃合されてなくなってしまった地域で子どもとのつながりが希薄になってしまっている。

課　題		消防団の負担が大きい、団員が高齢化している
改善提案	個人の取組み	・ 活動内容を理解し、積極的に参加する。
	地域・民間の取組み	・ 各団の役員が高齢化しているので若手を育成する。 ・ 青年団を活性化させる。
	行政の取組み	・ 消防団を統合する。 ・ 経費負担のあり方を見直す。

【その他意見】

● ゴミ出しのルールが徹底できていない地域がある。

（７）障害者支援

課　題		障害者への理解が不足している、住みやすい環境づくりが必要
改善提案	個人の取組み	・ 同じ目線で話す。「障害者だから」という垣根をなくす。 ・ 楽しいことを見つけ、一緒に取り組む。 ・ 相談にのるなど障害者の家族をサポートする（ボランティアなど）。 ・ 地域にいる障害者を把握する。 ・ 障害者について知らないことが多いので、知ることから始める。 ・ 2020 年パラリンピックの知識を増やす。
	地域・民間の取組み	・ 障害者や独居老人の情報を地域コミュニティで共有し、皆で見守る。 ・ スポーツ大会、食事会などを開催し、障害者と接する機会をつくる。
	行政の取組み	・ 障害者が楽しく働ける環境をつくる。 ・ 障害者が自立して生活できるよう支援する。 ・ 障害者の家族への支援を充実させる。 ・ ドリームハウスの様子を広報紙などで紹介する。 ・ 担当課が複数にまたがり連携が不足しているので、一本化する。 ・ グループホーム設立の検討。

（８）雇用

課　題		労働者不足、求職と求人がミスマッチしている
改善提案	個人の取組み	・ どんな仕事でもやってみる。 ・ 外国人労働者への差別や偏見をなくす。
	地域・民間の取組み	・ 入ってきた新人に丁寧に教える。 ・ 外国人労働者への差別や偏見をなくす。 ・ 求職者と仕事のマッチングをする。 ・ 日本語学校を設立する。
	行政の取組み	・ 求職者に仕事を紹介する。 ・ 外国人に対する政策の緩和。 ・ 入国管理や難民に関する規制の緩和。
その他		・ どうしたら人が集まるのかわからない事業者が多いのではないか。 ・ 行政が手助けしにくい。

課　題		子育て中の女性の雇用の場が少ない
改善提案	個人の取組み	
	地域・民間の取組み	・ 魅力ある働く場を作る。
	行政の取組み	・ 働きやすい職場づくりの支援、斡旋。
その他		・ 子育てをしながらの労働はハンデがある。

（９）人口

課　題		人口が減少していく
改善提案	個人の取組み	
	地域・民間の取組み	・ 若い人が住みたくなる行方市にする。 ・ 若い人の定住を促進する。 ・ 人口が減少する要因として教育環境が考えられるので、学習塾を開く。
	行政の取組み	・ 働く場所確保のために企業を誘致する。 ・ 会社の中に保育園をつくる。 ・ 土浦、つくば、水戸への通学しやすくなるよう交通整備を行う。

課　題		地域で育った子どもが行方市を出た後、戻ってこない
改善提案	個人の取組み	・ 近所の子どもに声をかけ、仲間意識を根付かせる。
	地域・民間の取組み	・ 地域の祭りや行事を盛り上げ、子どもたちに参加してもらう。 ・ 小・中・高・大の連携を深め、教え合い、キャリア教育、情報交換の場として寺子屋をつくる。
	行政の取組み	・ インターネット上で地域の活動を発信する。

○その他

- 敬老祝い品の見直しが必要。
- 野良犬が放置されているので対策が必要。
- 太陽光発電、風力発電、バイオマスなど、エネルギーを地産地消する。
- あれもこれもではなく、数を絞って政策を実施する。